

令和7年11月9日執行

広島県知事選挙候補者選挙公報

広島県選挙管理委員会

実りある広島新時代へ。



農林水産業の生産力を強化し、次の世代に残していく

- ・農業生産を拡大し、地産地消の学校給食や、食育・食体験、観光活用の増大へ
- ・気温上昇や大雨など気象変動対策の強化



地域の宝を活かした、創造性や文化・歴史を感じられる観光振興

- ・海山島川、産業の歴史など各地域の資源、物語、食を、デジタル技術の力や官民共創により磨き、つなげて、人を惹きつける地域をつくる（観光資源の磨き上げ）
- ・ふるさと納税の活用（体験型など）



若者や女性が住みたくなる地域づくり

- ・特に若者・女性が住みたい、働きたいと思う地域づくり、職場づくり（職場の魅力向上、産業誘致、活躍する姿の発信等）
- ・コンサートの広島飛ばしの解消、文化・アート・祭り・エンターテインメントによる魅力向上・関係人口の増加



核兵器廃絶、恒久平和に向けた取り組みの前進

- ・「国際平和拠点ひろしま構想」に基づき、国際社会に被爆の実相を伝え、多様な主体と連携し、核兵器廃絶のプロセスや平和構築を推進



防災・減災対策、危機管理の強化

- ・すべての県民の命と暮らし、雇用を守り抜くための対策を強化
- ・既存する老朽化した施設の改修補強を含めたインフラ整備、デジタル技術等も活用した災害情報の迅速な共有や避難指示体制の強化

横田みか プロフィール

1971年8月1日 広島県呉市生まれ(54歳)
広島大学附属高校、東京大学法学部卒業
1995年4月 農林水産省入省
2019年7月 農林水産省経営局就農・女性課長
2021年4月 富山県副知事
2024年4月 内閣官房内閣審議官
2025年4月 広島県副知事(同年9月辞職)



無所属・広島県知事候補・前広島県副知事
横田みか

大山 宏



庶民の友

大山 宏(おおやまひろし)

政見・公約

1 「病は気から」の原点に立ち、医療費の半減化をめざします。

2 広島県内23市町の全ての役所・役場に「すぐやる課」を設置し、県から抜本対策の打てる人材を派遣し配置します。

3 16年間の湯崎知事の平和政策は引き継ぎ、核廃絶も実現して見せます。今回の県知事選の投票率が80%以上となるよう、投票所に足を運びください。

※湯崎現知事には将来、国連平和使となつて頂き、日本国内だけでなく全世界を、戦争の無い世の中へと導いて頂きましよう。

11月9日(日)は広島県知事選挙の投票日です。投票所に足をお運びください。期日前投票もご利用ください。

大山宏 おおやまひろし 1948年生まれ、広島大学理学部卒業、大手電機メーカー勤務後、サイエンス作家。お金をかけない活動で、2021参院選、22東広島市長選挙などで健闘。08065566000

教育・医療・福祉・環境・防災・経済・農業など詳しい政策は副知事予定候補・佐藤周一のYouTube・ブログで！



だれも、どの地域も取り残さない広島県に

すべての県民を支える知事に

いまの県政は、福祉は全国最低クラス、教育はエリートづくり、中小企業・農業は成長分野の支援が中心です。私は、こんな県政を転換して、誰も、どの地域も取り残さない広島をつくりたい



清潔であたたかい民主県政をつくる会
日本共産党推薦
いのばら 真弓

福祉・教育・くらしを守ります

福祉を拡充します

▽子どもの医療費は18歳まで無料にします

▽国保料と介護保険料を県が助成して引き下げます

▽医師を増やして無医地区をなくします

●広島駅北口の新病院建設は、計画を一時中断し、関係者が納得できる地域医療をめざします

●中学3年まで35人学級に。学校統廃合は凍結します。学校給食費は無償にします

●事業所の99%、雇用の75%を占める中小企業・農林漁業を応援します

▽中小企業予算を増やし、農家に価格保障・所得補償を

安心・安全、いのちを守ります

●産業廃棄物は、県外からの搬入を規制する条例や水源保護条例をつくり、規制を強化します

●原発ゼロ。災害対策・老朽化対策を抜本的に強めます

金権腐敗事件を二度と許さず
相次ぐ不祥事の責任を明確にします

●政治をゆがめる企業・団体献金の禁止を求めます

●教育長の官製談合事件、公文書の偽造、内部通報の消滅、知事公印の不正使用など相次ぐ不祥事を調査・解明し、行政責任を明確にします

世界で最初の被爆県として、核兵器禁止条約への参加を求め、呉市の軍事拠点化に反対します

略歴＝1961年生まれ。県立尾道商業高校卒業。現在、新日本婦人の会県本部委員、日本共産党県委員。尾道市在住。